

# 中施策評価書

作成日 令和05年 4月 13日

中施策事業名	地域公共交通活性化事業	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	萩野 昭久
①めざすまちの姿	08 交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している		
②大施策	交通の利便性を高め、移住を促し、通勤・通学しやすくなるようにする		
③中施策	公共交通の利便性を良くする		
④中施策事業の対象	豊明市在住・在学・在勤者及び来訪者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	公共交通を利用した移動がしやすいと感じている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通網形成計画推進事業</li> <li>・地域公共交通計画策定事業</li> <li>・地域公共交通会議及び地域公共交通活性化協議会の運營業務</li> <li>・ひまわりバスの運行事業</li> <li>・チョイソコとよあけ事業</li> <li>・地域路線検討事業</li> <li>・尾三地区広域公共交通推進事業</li> </ul>		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
名鉄バス・ひまわりバスの利用者数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	1,691,000	0	0	0	0
	実績値	1,129,267	0			
単位	人					
公共交通全体の利用者数（鉄道、名鉄バス、ひまわりバス、チョイソコ）	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	1,483.8	1,493.3	1,502.7	1,512.2
	実績値	0	1,400			
単位	万人					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		93,578千円	90,810千円		
a	事業費合計	93,578千円	90,810千円	89,400千円	
	人件費	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		2,479千円	1,309千円	1,360千円	
③ コスト(①-②)		91,099千円	89,501千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		1,324円	1,301円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p><b>【B】</b></p> <p>新型コロナの影響により公共交通の利用者数は大きく減少したが、令和3年度以降は回復傾向にある。令和4年度利用者数は前年度比でひまわりバスが110%、チョイソコが106%増加し、チョイソコはコロナ前の利用者数を上回った。利用促進策として、豊高イラスト部との連携企画や豊明秋まつりでの無料運行及びバス展示を実施。チョイソコはスポンサーと連携したイベント企画を毎月実施するとともに、経費削減としてスポンサー獲得(3社増加)やオペレーション費を削減(678千円/年減)した。福祉連携では、高齢者割引制度の継続実施と併せて、タクシー事業者との連携による不審者情報等の共有を開始した。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づいた利用促進策の取組実施</li> <li>・交通空白地域との意見交換(阿野苅外山地区を予定)</li> <li>・チョイソコ車体広告及び乗合率向上の検討(経費削減及びスポンサー獲得)</li> <li>・チョイソコ事業の方針検討(令和7年度以降)</li> <li>・ひまわりバス車両更新に向けた検討(EV車両の比較検討)</li> </ul>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づいた利用促進策の取組実施</li> <li>・ひまわりバス車両更新</li> <li>・ひまわりバス及びチョイソコの運行事業者選定プロポーザル(令和7年度以降の運行事業)</li> <li>・南部地区の交通改善検討(道路環境に合わせた車両のダウンサイジング等)</li> </ul>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 4月 10日

中施策事業名	パブリックコメント事業（広聴事業）	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	萩野 昭久
①めざすまちの姿	22 行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている		
②大施策	積極的に市民の意見を吸い上げる		
③中施策	子どもから大人まで意見を述べる仕組みや機会を増やす		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民の意見が政策形成過程に反映されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・パブリックコメント		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
パブリックコメントへの提案件数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	10	10	10	15	15
	実績値	67	2			
単位	件					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		0千円	0千円		
人件費	a 事業費合計	0千円	0千円	0千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		0千円	0千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		0円	0円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>計画策定及び改訂が少なかったこともあり、1案件に対して2件の意見に留まった。近年は、計画の策定や改訂しかパブリックコメントを実施していない状況のため、その他の特に市民生活に関わってくるような政策判断において、パブリックコメントを活用するよう各課に周知していく必要がある。</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	計画策定等以外のもので、パブリックコメントを実施すべき案件（豊明市パブリックコメント実施要綱に規定）について、各課に改めて周知を行うとともに、対象案件の洗い出しを行い、個別各課に案内を行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	継続的にパブリックコメントを有効に活用するよう、各課への周知や手続きの案内を継続して行う必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 10月 31日

中施策事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	萩野 昭久

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税収を増やす等、収入を確保する
④中施策事業の対象	市、市民はじめ多様な主体者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	人口ビジョン及び総合戦略実現のために計画的かつ効果的に取り組んでいる
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち・ひと・しごと創生総合戦略</li> <li>・地方創生</li> <li>・構造改革特別区域、地域再生事業</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
基本目標における KPIの達成率	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	20	40	60	80	100
	実績値	5.6	0			
単位	%					
施策(事業)のKPI達成率	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	20	40	60	80	100
	実績値	29.4	35			
単位	%					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			20千円	22千円	
人件費	a 事業費合計		20千円	22千円	50千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			20千円	22千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			0円	0円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B 令和4年度の基本目標におけるKPIの達成率は0%、施策(事業)のKPIの達成率は35%であった。基本目標に関する達成率が低調であったが、新型コロナウイルスの影響によりまちづくり指標の数値が軒並み低調であったことが要因である。</p> <p>企業版ふるさと納税については、令和4年5月にオープンしたカラットの充実整備にあたって、寄附をいただくことができた。</p> <p>国がデジタル田園都市国家構想の推進に伴い、総合戦略の名称変更及び改訂を行った。他市町の動向も見ながら計画改訂についても検討を行う必要がある。</p> <p>地方創生関連の交付金事業がないため、既存・新規事業による申請を検討する。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>総合戦略に関する令和4年度実績について、外部委員会による効果検証を行い、今年度以降の事業改善に繋げる。</p> <p>企業版ふるさと納税の重点事業に「三崎水辺公園のリニューアル改修事業」を追加したため、事業担当課を中心とした積極的なPRを推進する。</p> <p>また、デジタル田園都市国家構想推進交付金(デジタル実装タイプ)の申請に向けて調整を行う。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	DXの推進に向けて、情報システム課と連携しながら、関係課を巻き込んだ検討を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) デジ田交付金の申請事務	内容、理由、時期等 DX推進に向けた事業についてはデジタル実装タイプの交付金活用に向けた申請手続きを行う。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 10月 31日

中施策事業名	行政改革関係事務	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	萩野 昭久

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税金を効果的、効率的に使う
④中施策事業の対象	市職員
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	行政の事業実施に当たり、人・物・金の最適化により、最小の経費で最大の効果が発揮されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政改革</li> <li>・PPP/PFI (指定管理者制度を含む)</li> <li>・総合計画推進レビュー</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
行政改革後期推進 プランの達成度	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	20	40	60	80
	実績値	0	40			
単位	%					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額	決算額	予算額	
		令和03年度	令和04年度	令和05年度	
① 総事業費(a+b)		25千円	183千円		
a	事業費合計	25千円	183千円	1,159千円	
	人件費	正規職員	人数	0人	0人
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		25千円	183千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		0円	3円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>多様なPPP推進のために設置した民間活用事業推進アドバイザーを活用しながら、文化会館及び福祉体育館等の包括的な指定管理者の更新等に向けた優先的検討を実施することができた。</p> <p>また、公共施設総合管理計画の改訂については単純な計画改訂ではなく、今後の運用を見据え、長寿命化計画等の関連計画を含めた見直しを行うこととしたため、改訂完了を令和6年3月頃を目途に延期した。令和4年度は、そのために必要となる、施設の維持管理運営に関するデータの整理に向けた準備を行った。</p>
-----------------------------	---

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	福祉体育館等の包括的な指定管理者更新に向けて、今後の長寿命化改修を見据えた公募仕様となるよう、サウンディング調査の結果も踏まえた検討を各施設所管課や民活アドバイザーと連携しながら実施する。また、公共施設包括管理業務の導入や民間提案制度のあり方を検討する。公共施設総合管理計画についても、令和6年3月を目途に改訂作業を完了させる。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	総合管理計画の改訂に伴い、その他の関連計画についても必要に応じて改定を行う。福祉体育館の長寿命化改修にかかる民間活用について、引き続き検討を行うとともに、企業版ふるさと納税を継続、企業広告の獲得等、あらゆる資金の活用を検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等



# 中施策評価書

作成日 令和05年 5月 22日

中施策事業名	広域・民間連携推進事業	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	萩野 昭久

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税金を効果的、効率的に使う
④中施策事業の対象	他自治体、大学、企業など
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	まちの未来像「みんなでつなぐしあわせのまちとよあけ」を実現するため近隣自治体などと協働で事業が行われている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域行政(尾三・尾張東部企画担当など)</li> <li>・ 包括連携</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
協定締結数(市全体)	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	160	162	164	208	210
	実績値	240	266			
単位	数					
連携枠組み(企画関係)	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	3	4	4	4	4
	実績値	4	4			
単位	数					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			10千円	5千円	
人件費	a 事業費合計		10千円	5千円	23千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			10千円	5千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			0円	0円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

<p>上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析</p>	<p>A</p> <p>市全体の協定締結数は、266件と順調に推移している。</p> <p>尾三地区自治体間連携では、継続検討4テーマについて検討が進められ、スクールロイヤーの共同設置については、協定締結を行い事業化することができた。</p> <p>民間との連携については、(株)スギ薬局とのカラットオープンを契機としたイベント開催、24時間テレビのサテライト会場誘致のほか、防災備蓄のローリングストック等、様々な取組が行われた。また、新たに日本郵便(株)とも包括連携協定を締結することができた。</p>
------------------------------------	--

## ■改善案の検討

<p>現年度に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>尾三地区自治体間連携を中心に、現在検討中の連携事業について、進捗状況を把握しながら適切な支援を行う。</p> <p>民間との連携については、引き続き(株)スギ薬局と各課との連携支援を行う。また、(株)大塚製薬と健康福祉部との熱中症対策健康会議のキックオフに向けて支援を行う。</p>	
<p>翌年度以降に実施可能な改善・調整事項</p>	<p>自治体間連携については、引き続き情報共有を図りながら、新たな行政課題が生じた場合は連携しながら対応を検討する。</p> <p>民間事業者との連携においては、各課との連携状況について把握しつつ、事業者とも情報共有を図りながら、新たな連携の可能性について探索を行う。</p>	
<p>今後、改善・拡大する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、実施すべき新規事業</p>	<p>事業名(仮称)</p>	<p>内容、理由、時期等</p>
<p>今後、休廃止する事業</p>	<p>事業名</p>	<p>内容、理由、時期等</p>

# 中施策評価書

作成日 令和05年 11月 22日

中施策事業名	行政評価推進事務	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	萩野 昭久

①めざすまちの姿	27 行政は明確な成果目標を持ち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している
②大施策	成果志向型の行政経営を実践する
③中施策	P D C Aサイクルを確立する
④中施策事業の対象	市
⑤中施策事業の意図 <small>(対象をどのようにしたいですか)</small>	総合計画マネジメントとして行政評価を実施し、市の施策、事務事業のP D C Aサイクルを回し、総合計画のめざすまちの姿の実現に向けた推進を図る
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政評価</li> <li>・ 実施計画</li> <li>・ 業務改善提案制度</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
中施策の総合評価 Aの割合	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	90	90	90	90	90
	実績値	50	46.6			
単位	%					
中施策の進捗状況 Aの割合	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	90	90	90	90	90
	実績値	41.5	41.5			
単位	%					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			0千円	0千円	
人件費	a 事業費合計		0千円	0千円	0千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 <small>(事業費に含む)</small>	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			0千円	0千円	
市民一人あたりコスト <small>(③/市の人口(評価対象年度末時点))</small>			0円	0円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>市全体の中施策評価の総合評価「A」の割合は46.6%、進捗状況「A」の事業の割合は41.5%となり、前年度と比較して大きな伸びは見られなかった。まちづくり指標の向上に向けて、より総合計画マネジメントを意識した成果志向型の行政評価とするため、中施策評価書の作成依頼前に、全担当係長級職員向けの説明会を実施した。</p>
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	全担当係長級職員向けに実施した説明会の内容が、中施策評価書に反映されているかどうか、確認及びアドバイスをを行いながら効果検証を行い、次年度向けへの改善検討を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	次期総合計画の策定も始まるため、現在の行政評価の考え方は継続しつつ、次期総合計画も意識した新たな行政評価の仕組みについての検討を行う。併せて、行政評価システムの必要な改修を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和05年 7月 13日

中施策事業名	総合計画進捗管理事務	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	萩野 昭久

①めざすまちの姿	27 行政は明確な成果目標を持ち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している
②大施策	成果志向型の行政経営を実践する
③中施策	目標達成のために、職員の自己改革力を高め、連携・協力できる組織を形成する
④中施策事業の対象	市、市民はじめ多様な主体
⑤中施策事業の意図 <small>(対象をどのようにしたいですか)</small>	多様な主体者がまちづくりで役割を発揮しながら、まちの未来像「みんなでつなぐしあわせのまち とよあけ」を実現している
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合計画策定及び進行管理</li> <li>・ 経営戦略会議</li> <li>・ プロジェクトチーム</li> </ul>

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
成果指標の年度別 達成率	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	60	70	80	90	100
	実績値	34.2	31.9			
単位	%					
業務改善数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	75	75	75	75	75
	実績値	0	60			
単位	数					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)			1,449千円	1,418千円	
人件費	a 事業費合計		1,449千円	1,418千円	1,776千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 <small>(事業費に含む)</small>	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			1,449千円	1,418千円	
市民一人あたりコスト <small>(③/市の人口(評価対象年度末時点))</small>			21円	21円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 成果指標の年度別達成率については、31.9%となり、前年度より退行した。また、まちづくり指標を把握するために毎年実施しているまちづくりアンケートはWEB回答も試行実施したため、効果検証をする必要がある。令和7年度に現総合計画が終了するため、まちづくり指標の一層の向上に向けて総合計画マネジメントをより効率的に回す必要がある。毎年新任担当係長向けに実施している行政評価説明会を、全担当係長向けに実施した。業務改善については、新型コロナの影響により令和2、3年度は未実施であったが、令和4年度についてはSDGsをテーマとし、全庁的なSDGsの理解促進に向けた取組み及び来庁者への周知を行った。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	全担当係長向けの説明会を実施した効果検証を行うとともに、改善に向けた動機付けのためには、現状のまちづくり指標の達成率を認識してもらうことが重要となるため、周知の方法を工夫する。まちづくりアンケートのWEB回答導入の効果検証を行い、次年度以降の実施方法を検討する。総合計画マネジメントについての職員の理解度を高めるための対応策を検討する。また、第6次総合計画への継承も意識した制度設計や周知方法の検討を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	全庁的に総合計画マネジメントについて理解し、行政評価、予算編成等をより効果的に連動させるため、幹部及び課長級職員への説明会を実施する。また、令和5年度より策定を開始する第6次総合計画について、令和6年度中により具体的な施策・事業体系の検討やまちづくり指標の検討を進め、令和7年度の完成に向けて計画的に策定手続きを進める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等